

|                |  |      |            |     |    |                 |     |  |     |
|----------------|--|------|------------|-----|----|-----------------|-----|--|-----|
| 科目名称           | 社会学  |      |            |     |    | ビジネス・キャリア       | (○) | オフィス情報   | (○) |
| 英文科目名称         | Sociology  |      |            |     |    | グローバル・コミュニケーション | (○) | 医療事務・医療秘書  | (○) |
| 科目コード          | 512120   | 授業形態 | 講義         | 単位数 | 2  |                 |     |  |     |
| 教員氏名           | 呉 海鍾   |      | 年次配当       | 1年次 | 後期 | ホテル・観光          | (○) | 大学編入   | (○) |
| 実務経験教員担当       | 有・ <b>(無)</b>  |      | アクティブラーニング |     |    | <b>(有)</b> ・無   |     |  |     |
| 授業概要<br>及び授業方法 | <p>本授業では、授業毎に取り上げる社会学の基礎的なトピックスをもとに、学生が社会学の基礎的な知識を身につけることを目的としている。また、社会的思考を育成するためには、多角的な視点から様々な社会事象を分析する能力を身につける必要がある。その為、本授業では様々な社会事象について多様な視点から解説を行うことで、学生の多角的な視点や、社会事象によって引き起こされている課題に関する改善案を自ら考えられる思考力も養っていく。</p>  |      |            |     |    |                 |     |  |     |
| 関連する科目         | 社会学概論、現代社会論、グローバリゼーションと労働  |      |            |     |    | 卒業認定(学習成果)との関連  |     | ①, ②, ③, ④   |     |
| 授業計画           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション：授業の進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明</li> <li>2. 社会とは？：社会学の定義や意義や社会学誕生の歴史的な経緯等について概説する</li> <li>3. 親密性と公共性①：電車等の事例を通して公共空間について考える</li> <li>4. 親密性と公共性②：儀礼的無関心や下宿人実験等をもとに公共空間と親密空間について考える</li> <li>5. 相互行為と自己①：鏡に映る自我や「I」と「me」等から自我について考える</li> <li>6. 相互行為と自己②：地位と役割について考える</li> <li>7. 組織とネットワーク①：フランチャイズチェーン等の事例をもとにマクドナルド化について考える</li> <li>8. 組織とネットワーク②：官僚制とソーシャルキャピタルをもとに組織とネットワークについて考える</li> <li>9. 宗教と社会①：「聖」と「俗」等の観点から宗教について考える</li> <li>10. 宗教と社会②：宗教の分類や世界3大宗教（キリスト教、イスラム教①）をもとに宗教について考える</li> <li>11. 宗教と社会③：世界3大宗教等をもとに宗教について考える（イスラム教②、仏教、ヒンドゥー教）</li> <li>12. 日本人と宗教①：日本の古来の宗教観や「トイレの神様」、仏教公伝等の観点から日本の宗教について考える</li> <li>13. 日本人と宗教②：日本の政治、社会、文化の観点から日本の宗教観の変容について考える</li> <li>14. 空間と場所：地域社会についてコミュニティとアソシエーション等の観点から考える</li> <li>15. 空間と場所：地域社会が抱えている課題等について考える</li> </ol> |      |            |     |    |                 |     |  |     |
| 授業時間外の学習       | <p>毎週授業のテーマに関連する事項について書籍、論文又はインターネット等を利用して調べる等必ず予習をしてから授業に臨むこと。また、復習は必ず毎週1時間程度行い、次の授業の時にきちんと前回の内容が理解できているようにしておくこと。</p>  |      |            |     |    |                 |     |  |     |
| 授業の到達目標        | <ol style="list-style-type: none"> <li>①社会学に関する基礎的な知識を身につける。</li> <li>②多角的な視点を身につける。</li> <li>③様々な課題に関する改善案を考えられる思考力を養う。</li> </ol>  |      |            |     |    |                 |     |  |     |
| 課題に対するフィードバック  | 課題などのフィードバックに関しては、授業毎に適宜行う。  |      |            |     |    | 評価方法・基準         |     | ①授業への参加度、小テスト・ミニレポート、グループワーク等（50%）、②期末課題レポートと発表（50%）で算出する。 |     |
| テキスト           | 本授業は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら進めていく。   |      |            |     |    |                 |     |  |     |
| 参考書            | 適宜授業で紹介する。   |      |            |     |    |                 |     |  |     |
| 備考             | ①期末レポート（課題発表）が未定出で評価が「不可」となった学生の再試験の受験は認めないこととする。  |      |            |     |    |                 |     |  |     |